

通算才120号
1966-1967-7-6
函館北ロータリークラブ

第105回例会

例会場 明治生命館
例会日 毎週水曜日
1230~1330

本日のプログラム
卓話 ' 禅と現代の生活, 龍宝寺住職 木村清満氏

- 司 会 飯田会長
- 斉 唱 君が代 奉仕の理想
- ビジター 谷義一君(森 電気工事)
荻野佐太郎君他11名(函館) 辻常太郎君他7名(函館東)
- 飯田会長挨拶
ロータリアンとしては3年未済の私に会長職を命ぜられ当惑しましたが、決定には従うロータリーの鉄則によりお引受けしました。幸へ当クラブには経験深いキーメンもおられるし、函館及び東クラブのベテランの皆様方の御指導御協力によりこの1年を勤めさせていただきました。どうぞよろしく。
- 函館クラブ四倉会長挨拶
谷幹事と共に新年度の御挨拶に参りました。何かと御協力をお願いします。
- 函館東クラブ森岡会長挨拶
庄司幹事と新谷副会長と同伴して御挨拶に参りました。これから1年間、殊に北クラブとは同じ釜の飯を食べた間柄なのでよろしくをお願いします。
- 渡辺(綱彦)第1分区代理挨拶
新年度の分区代理を命ぜられました。分区代理は正式な役ではなく、権限も無く、分区内の御世話が仕事です。函館では既に3クラブの会長幹事会が設けられていますが、新年度から江差と森にも参加していただきます。
- 遠藤前会長並びに戸栗前幹事に対する記念品贈呈
- 新年度の役員、委員長等の紹介
- 会 長 報 告
 1. 函館市肢体不自由児父母の会より慰安会の出席状が来ております。
 2. 広島から美しいパンフレットが送られて来ました。(回覧)
 3. 岡田新ガバナーが今月20日過ぎに江差に来られ、その時非公式訪問があるかもしれませんが、新ガバナーは和顔愛語をモットーの柔和な方ですが、ガバナーの立場では厳しく、私達は大いに勉強しなくてはなりません。
 4. 新年度のクラブ活動計画を今月の20日から30日の間に提出しなければなりませんので、その粗案を13日までに作製して下さい。

幹事報告

1. 例会終了後全員お残り下さい。(13日18時より「函館ロイヤル」で、新年度のクラブ活動計画編つぎアツゼンブリーを行なうことに決定)
2. 350区年次大会(9月24日より釧路市で)の案内が来ております。

ニコニコ・ボツクス

1. 御誕生日 塚田君 神原君 新君 野村君 飯田会長
2. 御結婚記念日 堀君 野村君
3. 倶野会員の御子息がアメリカ留学を終えて帰国されました。
4. 函館及び東クラブの会長、幹事さんより金一封ありがとうございます。

雑話三題

1. 遠藤前会長 わかし楚の荘王が部下の武将を集め、美女達を侍らせて大宴会をやりました。宴酣わの頃、一陣の突風と共に灯が消え、酔つた武将が美女に戯れました。中に女丈夫がいて、男をはねのけて冠の紐を千切り、その次才を大声で叫び、早く灯をつけて不屈者を糾明するようにと言つたのです。然し荘王は「灯をつけるな。このような寡黙気にした責任は私にある。故に各人は1本づつ紐をとれ。」と言ひ、お蔭でその武将は救われました。その後その武将は 戦場で幾度か荘王の危うい場面を助けて恩に報いたそうです。上に立つ者はこのような心構えがあつて然るべきと思ひました。
2. 森岡函館東クラブ会長 飯田さんと私は湯の川の同じアパートに暮らしていますが、お互いに牽制し合つて自重し、絵に画いたような立派なロータリオン生活を送つています。然し飯田さんは新居を建築中で、秋に引越すそうですから、その後で私はプライベートな生活を楽しませ予定です。
3. 飯田会長 私はそれ程真面目ではありません。酒も含みますが悪いことはしないのでロータリーに入れていただいていると思つてます。先週社用で上京し、例会を欠席したのですが、台風4号のため一関小牛田間で6時間も列車が立往生しました。これは例会欠席の罰でしょう。
4. 遠藤前会長の追加 「小牛田」の手前に「石越」駅があります。駅のアナウンスは「もすこし、もすこし... ここだ、ここだ」となるので、乗客あわてて降りるそうです。

(会報子追加) 盛岡の近くの「沼宮内」駅では、「寿司に弁当、寿司に弁当... うまくない、うまくない」

出席報告

1. 本日 会員数31名 出席25名
2. 前回 87.10%(函館94.44% 函館東94.59%)

◎ 次回のプログラム 「はなし」の話 NHK函館放送局長 西川明氏



通算才121号
1966~1967-7-13
函館北ロータリークラブ

第106回例会

例会場 明治生命
例会日 毎週水曜
12.30~13.30

本日のプログラム

卓話 ♪ はなし ♪ の話 NHK函館放送局 古河 章氏

- ◎ 司 会 飯田会長 ◎ 斉 唱 手に手つないで
- ◎ ゲスト 木村清満氏
- ◎ ビジター 榎林(うめばやし)太郎君(石巻東 造船鉄工)
河村定勝君他12名(函館) 斎藤正雄君他12名(函館東)

会長報告

1. R. I. のリチャード・エル・エバンス会長から、本年度に実行すべき項目についての書簡が来ました。大切なことなので再読します。
2. 「R. I. ニュース」のダンバー国際会議の記事の一部を朗読します。

幹事報告

1. 本日後6時から「函館ロイヤル」でアツゼンブリーを行ないます。
2. 川崎R.O. から小冊子「ロータリーあれこれ」と「青春をすこやかに」が送られて来ました。御希望の方は幹事まで。

◎ 卓話 「禅と現代生活」 龍宝寺住職 木村清満氏

本日は現代生活の病根、病状といつたものをお話しながら、多少抹香臭くなりますが、それ等を禅ではどのように扱いかを申し述べたいと思ひます。

禅宗には三派あり、私共のは曹洞宗で、開祖は越前の永平寺を開いた道元禪師です。師は14才で出家し叡山で修業しましたが、途中で大きな疑問にぶつかりました。仏教では「衆生元来仏なり」と言ひます。これは人間は本来完全無欠の意味で、それならば人間は何のために修行するのか、と矛盾を感じたのです。叡山の管長に聞いても解答は得られず、師は疑問を抱いたまま山をおりました。そして榮西禪師に教えを請うたところ、一言のもとに解決したのです。師は言ひました。「そんなことを知つているのは猫か狸だろう」と。

禅では言葉に固定した定義を持ちません。例えば「如何なるかこれ仏」の問に対し、「麻三斤」とか「お前は何兵衛だよ」とか、勝手な答をします。国会討論は噴飯ものです。お互いに幾重にも歯に衣きせてやつていますが、現代人は言葉に固定性があると誤解しているようです。曾て総理大臣が「バカヤロ」